

ふれあい キャンプ

夏休みを満喫



8月17日、小学生を対象に見る、さわる、つくることのおもしろさを体験して興味を持ってもらおうと「チャレンジワールド」がおこなわれました。今回は札幌市で開催。参加した27名の児童は、ノースサファリサッポロで様々な種類の動物たちに接したり、水陸両用車でコース内の沼を渡ったりと大興奮。たくさんの夏休みの思い出をつくりました。

元気いっぱい盆踊り



8月3日、妹背牛保育所のグラウンドで毎年恒例の七夕まつりが開かれました。園児たちの願い事を書いた短冊が結われた七夕飾りを囲い、親子で盆踊りを行ないました。少し肌寒い日でしたが、普段着ることのないかわいい浴衣や甚平に子どもたちは大喜び。元気いっぱい踊った後にはお菓子が配られ、笑顔で七夕の一夜を楽しみました。

四葉の会



8月2日、妹背牛町保健センターで「四葉の会」が行われました。この会は町の健康診断などで食事制限が必要となった方たちが集うというもの。今回は初めて敦谷栄養士が担当して行われました。まず最初に健診から始まり、次に参加者全員で食生活に関する質問や近況報告、意見交換会。その後「トマトときゅうりのもずく酢」、「茄子とししとうのさっぱり生姜煮」といった塩分や野菜量に気を使った計6品の料理の調理実習を行いました。

小学生保育所で人形劇披露



妹背牛保育所で8月2日、人権擁護意識を育てることを目的とした人形劇が行われました。この日演じたのは、妹背牛町郷土クラブから小学五年生の5名と、妹背牛町民生児童委員2名。練習は夏休みに入ってからわずか5回ほどしか行っていなかったそうですが上手に人形を操り、園児たちを楽しませました。フィナーレには全員で森のくまさんを合唱。園児たち一人ひとりに、ハンドタオルがプレゼントされました。

ペペルフアンの集い盛況



7月27日、妹背牛温泉ペペル前で、「妹背牛温泉ペペルフアンの集い」がおこなわれました。当日は天気が良く気温も高い絶好のビール日和となり、まず町長の乾杯でスタート。参加者は一日の疲れを吹き飛ばすようにビールを楽しんでいました。抽選が始まると、番号を読みあげるたび歓声上がるなど、大盛り上がりのイベントとなりました。

苦労の先に素敵な景色



7月22日、妹背牛町山岳同盟と教育委員会の共催で「町民登山」が行われました。当初の予定は雨竜沼湿原でしたが、大雨による崩落のため断念。黒岳に変更して登山を行いました。当日は天気が悪く、途中で霧雨にあたることもありましたが、進むにつれ雲のすきまから青空が。山頂に着くと天気も良くなり、18名の参加者は大雪の山々の景色を存分に楽しみました。

正しい生活習慣を

子どもたちの夏休みがスタートした7月28日と29日、夏休みの始めに正しい生活習慣を身に付けることを目的として、子どもの朝活事業が行われました。初日は親子連れ13名が参加し、朝のラジオ体操を総合体育館前で行った後、保健センターの調理室に移動し朝ごはんを作りました。メニューはサンドイッチとフルーツポンチ。4つのグループに分かれ少し危なげな手つきで調理を行い、出来上がった朝ごはんを食べました。朝食後、参加者みんなで朝学習、そのあとは町民会館に移動して陶芸体験を行いました。

